

国連が「2050年にはAMRで年1000万人が死亡する事態」と警告

厚生労働省委託事業

AMR対策臨床セミナー ⑩ 神戸 「かぜ診療ブラッシュアップコース」指導者講習会

日 時 ■ **2019年6月22日(土) 15:00** 開演
(開場 14:30 終了 18:00)

会 場 ■ TKP神戸三宮カンファレンスセンター ホール5B

参加者 ■ 医療従事者 (地域で抗菌薬適正使用を推進する医師)

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院
AMR臨床リファレンスセンター

AMR臨床リファレンスセンターでは、薬剤耐性の問題を知ってもらい、抗菌薬の適正使用や耐性菌による院内感染対策について考えるための「AMR対策臨床セミナー」を全国で展開しております。今回は日常診療の中でも最も一般的な疾患である、かぜ診療を抗菌薬(抗生物質)適正使用の観点から見直す「かぜ診療ブラッシュアップコース」指導者講習会を兵庫県神戸市において開催いたします。当日は地域で抗菌薬の適正使用の推進に携わる医師が参加する予定です。なお、この指導者講習会は昨年度の千葉に引き続き2回目の開催となります。

この機会に、報道関係の皆さまにも是非ご取材いただき、メディアを通じて広く「薬剤耐性」を知る機会をつくっていただければ幸いです。ご多忙とは存じますが、ぜひご来場を賜りますようお願い申し上げます。

AMR対策の必要性 ～抗生物質の不適切な使用は、本当に必要な時に効果が低くなる～

抗菌薬(抗生物質)は細菌が増えるのを抑えたり、殺したりする薬です。しかし、細菌もさまざまな手段を使って生き延びようとします。本来ならば効くはずの薬が効かなくなること、**「薬剤耐性 (AMR: Antimicrobial resistance) 」**といいます。

抗菌薬を使うと、抗菌薬の効く細菌はいなくなり、効かない細菌が生き残ります。生き残った細菌は体内で増殖したり、人、動物、食品や環境を通じて広がることがあります。抗菌薬の不適切な使用はこれを助長します。**かぜなどの抗菌薬が効かない感染症には使わず、本当に必要なときに限って使うことが大切です。**

2019年4月29日、国連は抗生物質が効きにくい薬剤耐性菌が世界的に増加し、危機的状況にあるとして各国に対策を勧告*しています。日本では、外来での抗菌薬使用が9割以上を占めており、外来診療で抗菌薬の適正使用を推進することが重要です。

* <https://news.un.org/en/story/2019/04/1037471>
No Time to Wait: Securing the future from drug-resistant infections
Report to the Secretary-General of the United Nations April 2019

薬剤耐性(AMR)情報サイト

AMRかしこく 検索
<http://amr.ncgm.go.jp/>



返信先 ▶ AMRCRC広報事務局
共同ピーアール株式会社 PRアカウント本部4部 高橋(速)宛

FAX返信番号 ▶ 03-3571-5380

厚生労働省委託事業

AMR対策臨床セミナー in 神戸 「かぜ診療ブラッシュアップコース」指導者講習会

日 時 ■ 2019年6月22日(土) 15:00 開演 (開場 14:30 終了 18:00)

会 場 ■ TKP神戸三宮カンファレンスセンター ホール5B

プログラム

講義 ● 「かぜ診療ブラッシュアップのための知識とスキル」
グループワーク ● 「かぜ診療をもっとよくしよう」

【講師】 山本 舜悟 京都市立病院 感染症科 副部長
具 芳明 国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター 情報・教育支援室長
藤友 結実子 国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター 主任研究員

▼該当する欄に印をつけ、必要事項をご記入の上、6月18日(火)までにご返信ください。

ご出欠	☐ ご出席	☐ ご欠席
貴社名		
貴メディア名		
貴部署名	他 名	
ご芳名	☐ スチール	☐ ムービー ☐ 無し
撮影機材	TEL e-mail	FAX
ご連絡先		
ご要望等		

会場

兵庫県神戸市中央区御幸通6-1-12
三宮ビル東館 5F TEL:078-241-5990

アクセス

JR神戸線 三ノ宮駅 東口 徒歩5分
神戸市営地下鉄西神・山手線 三宮駅 東出口 徒歩7分
阪神本線 神戸三宮(阪神)駅 東口 A24出口 徒歩2分
阪急神戸本線 神戸三宮駅 東改札口 徒歩7分
山陽新幹線 新神戸駅 地下鉄で約10分
神戸空港 ポートライナーで約30分

